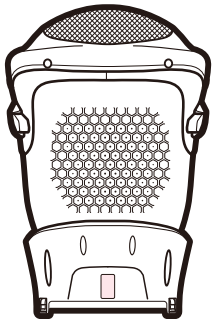
Cradle®

クレイドル
クルターンロング
i-Size



企画・販売元
株式会社シーエー産商
〒480-0201 愛知県西春日井郡豊山町大字青山字東栄51
お客様相談窓口
0120-034-017
受付時間 AM10:00～12:00・PM1:00～PM5:00（月曜日～金曜日※弊社休日を除く）

RC2003-2026-10

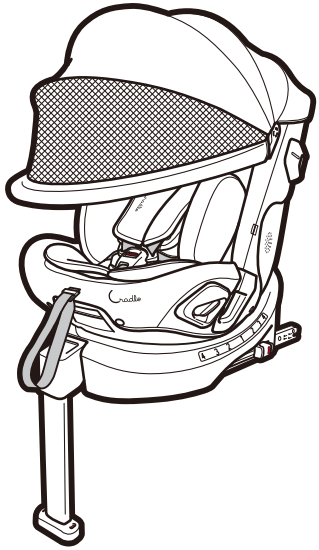
Cradle®

クレイドル
クルターンロング
i-Size

取扱説明書／保証書

ご使用になる前に、必ずこの『取扱説明書』を読んでいただき、十分にご理解された上で、記載の内容に従って正しく取り付けてご使用ください。

R129



本装置は、身長40～150cmまでのお子様用です。

※本書に使用しているイラストは、取り付け方や使い方をわかりやすくするため、実際とは多少異なる場合があります。

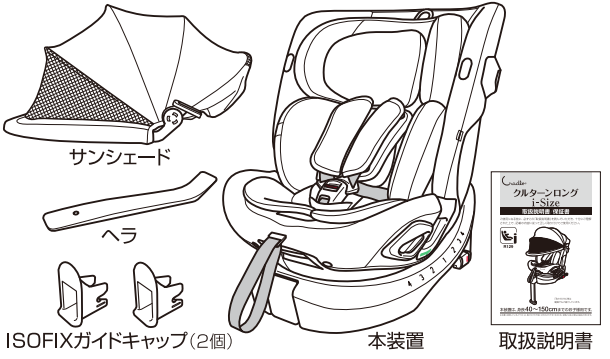
目次

■ご使用になる前に　梱包内容／ご利用にあたって…… 2
本装置について…… 3
■各部の名称…… 4
■本装置の使い方…… 7
■使用できるシートベルト／使用できないシートベルト……10
■取り付けできる座席……11
取り付けできない座席……12
■安全にご使用いただくために……13
■各部の使い方　回転レバー……17
リクライニングレバー……19
バックル・タング……20
肩ベルト……21
ヘッドサポート……22
サポートレッグ……23
ISOFIXコネクタ……25
ISOFIXガイドキャップ……26
インナークッション……27
サンシェード……28
■チャイルドシートモードとしての使い方……29
取り付ける前に／本装置の取り付け方……29
お子様を乗せる前に……33
お子様の乗せ方……34
お子様の降ろし方……36
■本装置の取り外し方……37
■ジュニアシートモードとしての使い方……38
取り付ける前に／本装置を車両に取り付ける…38
お子様の乗せ方／お子様の降ろし方……40
■カバー類の取り外し方……41
■カバー類の取り付け方……43
■お手入れ　カバー・パッド・クッション／本体・ベルト等 …45
■困ったときには……47
■保証規定……49
■保証書……50

ご使用になる前に

【梱包内容】

ご使用の前に、各部品がそろっていることをご確認ください。



〈サイズ〉W455×D545×H585～755mm 〈重量〉11.6kg

ご利用にあたって

●本書を読んでいただくためのポイントマークについて

下記のポイントマークは安全に関する内容ですので、必ず守っていただき、本装置をご使用ください。

警告
事故につながったり、生命の危険、重大な傷害のおそれがあることを記載しています。

注意
安全のため、ご注意していただきたいことを記載しています。

補足
より安全・快適にご使用していただく上で、知っておいていただきたいことを記載しています。

✕ 図に表示している行為の禁止を示しています。

ご使用になる前に

本装置について

本装置は、安全基準(UN ECE R129)※1に適合しており、身長が40～150cmまでのお子様を対象とした、R129(i-Size)改良型年少者用補助乗車装置です。

※1)UN ECE R129は、従来の安全基準「UN ECE R44」適合のチャイルドシートと比べ、より安全性を高めるために推進された新しい安全基準です。

●新基準UN ECE R129の詳細については、弊社ホームページ(QRコード→)をご覧ください。

本装置は、身長が40～105cm(新生児～4歳頃)までは、チャイルドシートモード(月齢15ヵ月かつ身長76cmを超えるまでは必ず後ろ向き)として、身長が100～150cm(3～12歳頃)までは、ジュニアシートモードとしてご使用いただけます。
ISOFIX取付金具が装備され、サポートレッグ※2が固定できれば、本装置は装着できますが、装備されていても車種によっては適合しない場合がありますので、必ず『車種別適合表』・車両の『取扱説明書』をご確認ください。

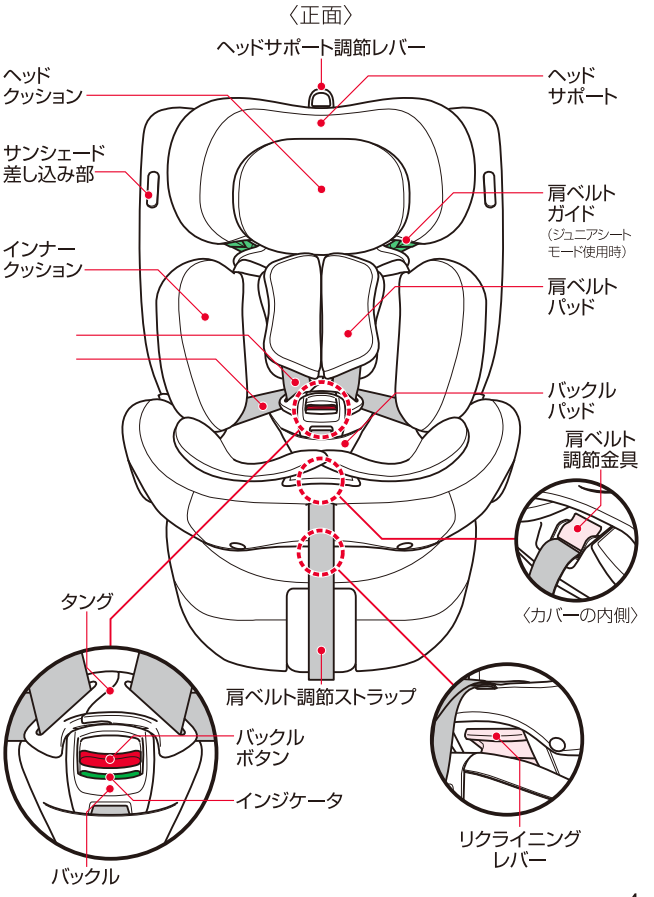
※2)サポートレッグは、ジュニアシートモードでは使用しません。

●車両の『取扱説明書』において「i-Size」表示マークがなくても、取り付け可能な場合があります。
弊社ホームページ(QRコード→)をご覧ください。

〈中古品のご使用について〉
前の使用者の使用履歴や使用状況が不明な場合は、ご使用をお控えください。特にベルトや部品にキズやひび割れ等の損傷がある場合は、事故等により本体に外部から強い衝撃を受けたおそれがありますので、決して使用しないでください。

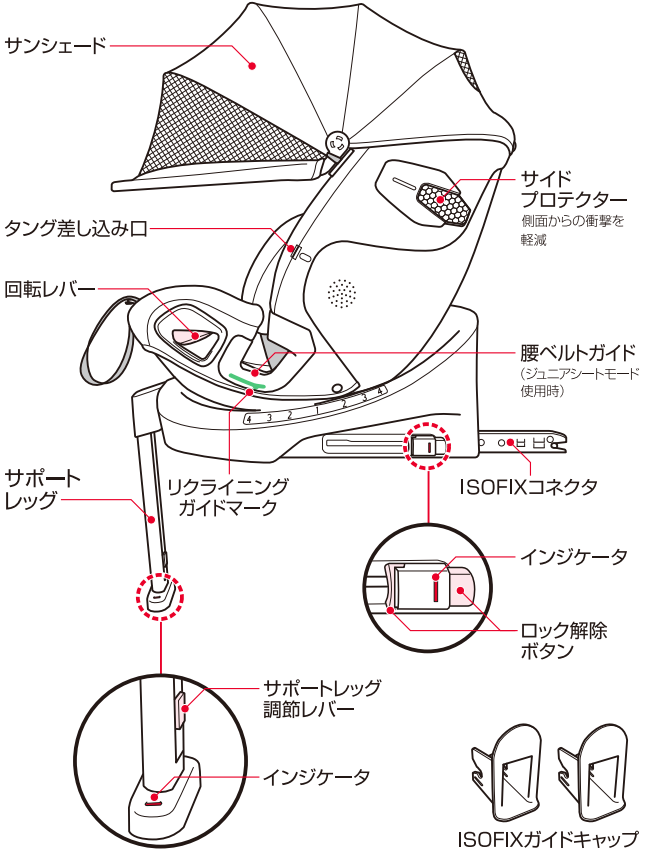
ご不明な点は、お買い求めになった販売店、または弊社「お客様相談窓口」までお問い合わせください。

各部の名称

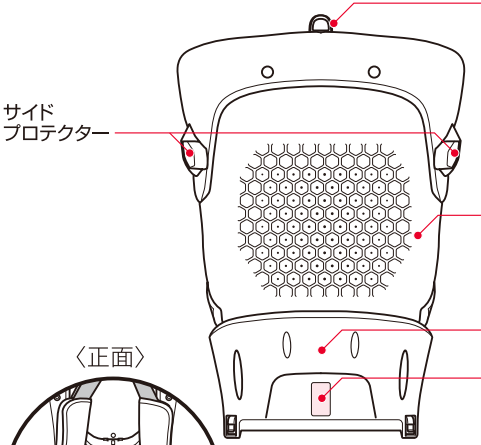


各部の名称

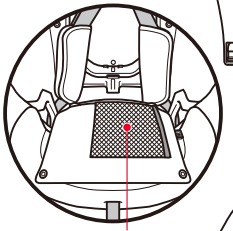
〈側面〉



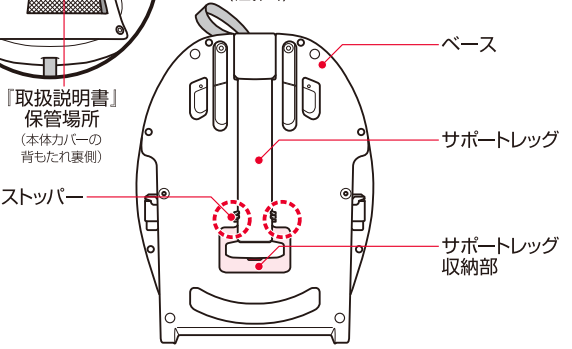
〈背面〉



〈正面〉



〈底面〉



本装置の使い方

※年齢･体重は目安です。お子様の身長に合わせてご使用ください。

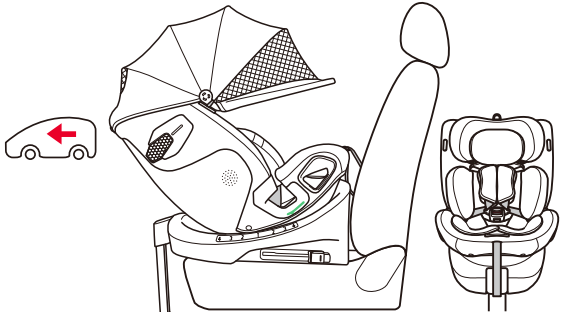
チャイルドシートモード〈後ろ向き〉

身長 40～105cm

●年齢の目安:新生児～4歳頃 ●体重の目安:約2.5～18kg

月齢15ヵ月かつ**身長76cm**を超えるまでは、
車両の進行方向に対して、必ず**後ろ向き**で使用。

※身長が76cmを超えても、できる限り
「後ろ向き」でのご使用をお勧めします。



ISOFIXコネクタと**サポートレッグ**で
取り付け、本装置の**肩・腰ベルト**、**バックル**で
お子様を拘束します。

警告 上記の条件を満たさない
お子様には、絶対に使用
しないでください。

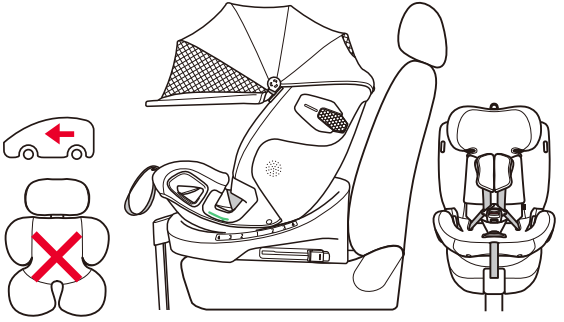
チャイルドシートモード〈前向き〉

身長 76～105cm

●年齢の目安:15ヵ月～4歳頃 ●体重の目安:約9～18kg

身長76cm以上では、インナークッションを
取り外して**前向き**で使用。

※身長が76cmを超えても、できる限り
「後ろ向き」でのご使用をお勧めします。



ISOFIXコネクタと**サポートレッグ**で
取り付け、本装置の**肩・腰ベルト**、**バックル**で
お子様を拘束します。

警告 上記の条件を満たさない
お子様には、絶対に使用
しないでください。

本装置の使い方

※年齢·体重は目安です。お子様の身長に合わせてご使用ください。

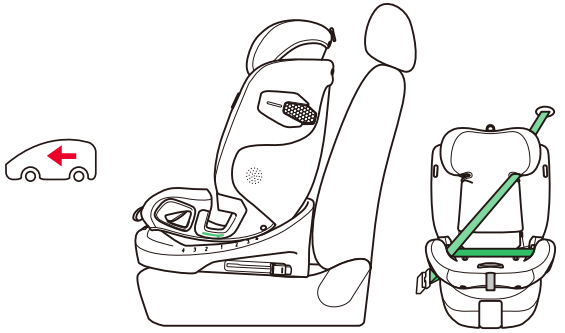
ジュニアシートモード〈前向き〉

身長 100〜150cm

●年齢の目安:3歳頃〜12歳頃 ●体重の目安:約15〜36kg

パッドを取り外し、バックル·タング、ベルト等を
カバーの中に収納して**前向き**で使用。

※サポートレッグは使用しません。



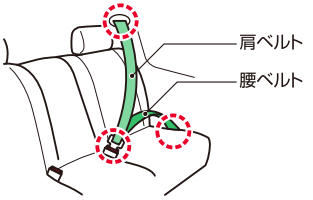
ISOFIXコネクタで取り付け
車両の**3点式シートベルト**でお子様を拘束します。

※ISOFIX取付金具の付いていない座席には、3点式シートベルトのみでも使用できます。

警告 上記の条件を満たさないお子様には、絶対に使用しないでください。

使用できるシートベルト〈ジュニアシートモード使用時〉

必ず3点式シートベルトをご使用ください。
(腰ベルトの左右と肩ベルトの3点で身体を支えるシートベルト)



3点式シートベルトの種類	
○ ELR緊急ロック式〈巻き取り機能付〉	ゆっくり引き出すと自由に伸び縮みし、勢いよく引くとロックするシートベルト。
○ ALR/ELR〈チャイルドシート固定機能付〉	すべて引き出した後で自動的に巻き戻り、それ以上伸びなくなる。すべて巻き取るとロックが解除されるシートベルト。
× その他	上記にあてはまらないシートベルトは、ジュニアシートモードで、ご使用いただけません。

※ご使用になる前に、車両の『取扱説明書』をご確認ください。

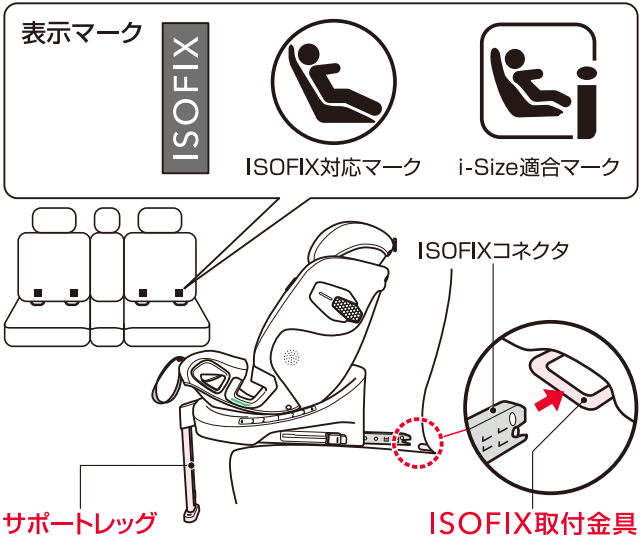
使用できないシートベルト

●シートベルトが装備されていない。
●2点式シートベルト。
※腰ベルトの左右2点で身体を支えるシートベルト。
●車両の肩ベルトの出口が座席より前にある(背もたれを起こしたり、座席を前にスライドさせることで使用できる場合があります)。
●肩ベルトまたは腰ベルトがドアに取り付けられている。
●車両のバックル、シートベルトが背もたれよりも10cm以上前に出ている。
●自動式ショルダーベルト(パッシブシートベルト)※が、装備されている。
※ドアを閉めると自動的にシートベルトを装着する機能があるシートベルト。
●受け側のバックルベルトの長さが15cm以上ある。(車両のバックルやタングが本装置とあたり、しっかり締め付けができません。)

取り付けできる座席

ISOFIX取付金具が装備され、サポートレッグが接地できる座席。車両の『取扱説明書』にi-Size適合、ISOFIX対応の表記や下記の表示マークがある座席。

※ISOFIX型チャイルドシートの取り付けを認可された座席に取り付けることができますが、ISOFIX取付金具を装備したすべての座席に取り付けられるものではありません。ご不明な場合は車両の『取扱説明書』をご確認いただくか、車両をご購入された販売店にお問い合わせください。



前方衝突時に、本装置が衝撃により、前方に倒れ込むのを防ぐためのものです。お子様の頭部移動量が少なくなり、その分衝撃を抑えます。

補足

ISOFIX取付金具は、通常2列目の左右座席に装備されています。
ISOFIX取付金具が座席に隠れて見えない場合があります。

本装置のISOFIX固定具は下記になります。車両の『取扱説明書』または車両をご購入された販売店で対応状況をご確認ください。

●後ろ向きで使用

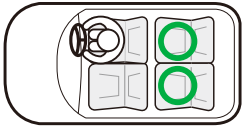
固定具	ISO/R2,R3

●前向きで使用

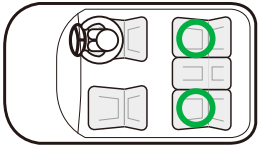
固定具	ISO/F2X,F3	ISO/B2,B3

●本装置を取り付けできる車種

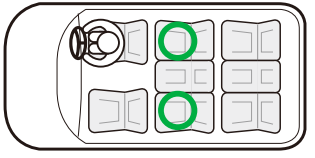
〈軽乗用車〉



〈普通乗用車・SUV〉



〈ミニバン〉



●座席に「**表示マーク**(P11参照)」があれば取り付けることができます。
●その他の車種については車両の『取扱説明書』をご確認ください。

※ひじ掛け固定式(キャプテンシート等)の座席に取り付ける際は、取り付ける前にあらかじめご使用される方向(前向き・後ろ向き)を決めてから取り付けてください。取り付けてから、本装置を回転させることができません。

取り付けできない座席

ISOFIX取付金具が装備されていない座席。サポートレッグが接地しない座席。

安全にご使用いただくために

⚠警告

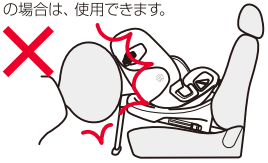
記載内容を守らないと、生命の危機または重大な傷害につながるおそれがあります。

月齢15ヵ月かつ身長76cmを超えるまでは、車両の進行方向に対して、必ず後ろ向きで使用してください。

●本装置は『取扱説明書』通りに取り付けてください。

●エアバッグが装備されている座席には、本装置は使用できません。衝突時、エアバッグの作動により、衝撃を受け非常に危険です。

※サイドエアバッグやカーテンエアバッグのみの場合は、使用できます。



●本装置のバックルを外した状態での使用は危険ですので、絶対にしないでください。

●本装置の肩ベルトが緩んだ状態で、使用しないでください。肩ベルトに緩みがあると首に巻き付いて窒息するおそれがありますので、必ず正しく調節してご使用ください。

●本装置を取り付けた後に、座席のリクライニングをされた場合、再度取り付けの緩み等がないか確認をしてください。

●お子様を乗せる際は、骨盤が腰ベルトで拘束されるように低い位置で着用し、肩ベルトもお子様に合わせ、適切な位置で拘束されるようにしてください。

●チャイルドシートモードの時は、サポートレッグを収納した状態で絶対に使用しないでください。衝撃時に機能が発揮できません。必ずサポートレッグを底面から引き起こし、高さを調節してからご使用ください。



●バックルボタンの強さは、安全規格上強めに設定されていますが、お子様の力でもタングが外れる場合があります。タングがバックルに確実にロックされているか必ず確認をしていただき、お子様にバックルボタンを押さないように指導してください。

●お子様の負担を考えて、1時間以上連続して使用しないでください。

●お子様を乗せたまま車両から離れないようにしてください。不慮の事故につながるおそれがあります。



●取り付け·取り外しの際は、本装置の可動部やISOFIX·金属部に手や指等を入れたり、挟まないように十分注意しておこなってください。

●走行中にお子様の乗せ降ろしや、本装置の調節等は危険ですので絶対にしないでください。

●拘束機能に影響を与えるおそれがありますので、本装置のカバー·クッション·ベルト類等を外して使用しないでください(インナークッションを除く)。また、他のものと交換しないでください。

●回転·リクライニングのロックがされていない状態で、使用しないでください。衝突時や急ブレーキをかけた際、本装置が動いて不慮の事故につながるおそれがあります。

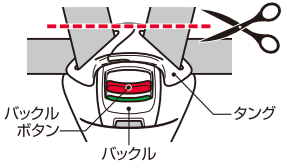
●車両のシートベルトや本装置の肩·腰ベルトが傷ついた場合、衝突時に性能が発揮できない場合がありますので、使用しないでください。

●事故や落下等により本装置が衝撃を受けた場合、外観に異常がなくても破損のおそれがありますので使用しないでください。

●本装置を屋外に放置しないでください。日光や雨などで機能を損ねる原因になる場合があります。

●車両の座席シートの材質·形状によっては、キズや跡が付く場合があります。とくに本革シート等の場合は、本装置と座席シートの間に、別売りの保護マット等を敷いてご使用ください。

●緊急時は慌てず速やかにお子様を救出してください。
バックルボタン(赤いボタン)を下に押しても、タングがバックルから解除できない場合は、本装置のベルトをはさみ等で切って、お子様を降ろしてください。



安全にご使用いただくために

⚠注意

記載内容を守らないと、傷害または事故につながるおそれがあります。

●本装置は車両専用ですので、車両以外での使用はしないでください。

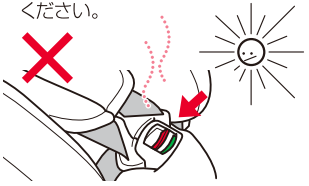
●走行前に本装置が確実に固定されているか、必ず確認をしてからご使用ください。

●お子様が転倒する危険がありますので、本装置の上で立ち上がったり、中腰にさせないようにしてください。

●本装置を取り付ける際、車両の座席やドアに挟まれたりしないように注意してください。

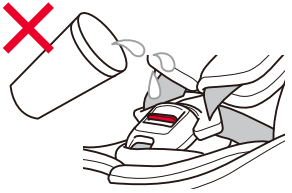
●本装置のベルトがねじれたり、緩んだ状態で使用しないでください。

●炎天下での駐車時は、金属部分や樹脂部分などが熱くなり、やけどをするおそれがあります。お子様を乗せる際は、各部に触れて熱くなっていないかを確認した上でご使用ください。



●パッド類など本装置の部品が破損した状態で使用しないでください。

●本装置のバックルや可動部分に、水やジュース等をこぼさないでください。また、ゴミや食べかす等が入らないように注意してください。万一入った場合は、「お客様相談窓口」へご相談ください。



●本装置に重いものを載せないでください。

●可動座席または車両のドアに、本装置の剛性部分(プラスチック部分等)を挟まないでください。

●お子様に本装置の取り付けや、操作をさせないでください。

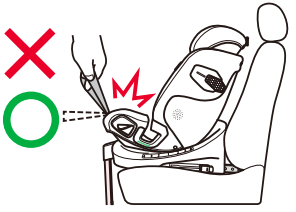
●車両内に、傷害を与えるおそれのあるものを放置しないでください。万一の際に、お子様や同乗者がケガをするおそれがあり危険です。

●本装置にお子様を乗せない時でも、安全のため必ずISOFIXコネクタまたは3点式シートベルトで固定してください。衝突時や急ブレーキをかけた際、本装置が移動してケガをするおそれがあります。

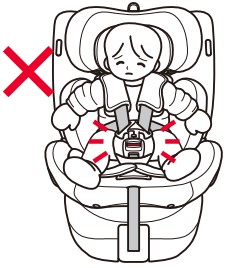


●サポートレッグが接地するフロア面が、水平であることを確認してください。水平でない場合は、安定しないことがあります。他の座席でご使用ください。

●肩ベルト調節ストラップを上に引っ張ると、肩ベルト調節金具が破損するおそれがありますので、手前にゆっくり引いてください。



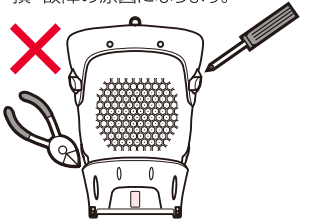
●極端な厚着や防寒具の上から本装置の肩・腰ベルトを装着すると、肩・腰ベルトが緩むおそれがあります。お子様に肩・腰ベルトを装着した上から寒さ対策をしてください。



●定期的に本装置に異常がないか、確認をしてください。

●本体カバーやパッド・クッション類のお手入れに、シンナーなどの溶剤は使用しないでください。

●改造・修理はしないでください。破損・故障の原因になります。

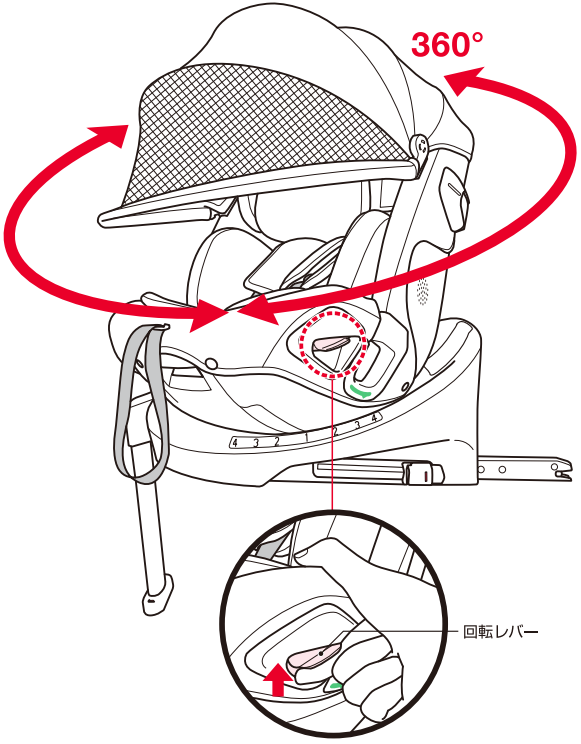


各部の使い方

回転レバー

回転レバーを上に押してロックを
解除させて回転させます。

※本体を左右どちら側からでも360°
回転させることができます。



回転し始めたら回転レバーから指を
離し、「前向き」・「後ろ向き」にすると
「カチッ」と音がしてロックします。

※ロックする位置は前向き・後ろ向きの
2ヵ所です。

横向き（90°）でも軽く止まりますが、
お子様の乗せ降ろしの時のみにご使
用ください。

後ろ向き

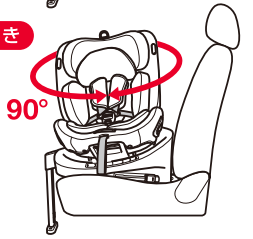


前 向 き



月齢15ヵ月かつ身長76cmを超えるまで
必ず後ろ向きでご使用ください。

横 向 き



横向きでは
絶対に走行しないでください。

警告

本体を横向きにしたままで、絶対に走行しないでください。本来の機能を果たさず、たいへん危険です。

走行する前に、本体がロックされて回転しないことを必ず確認してください。確実にロックされていない状態では、決して使用しないでください。

注意

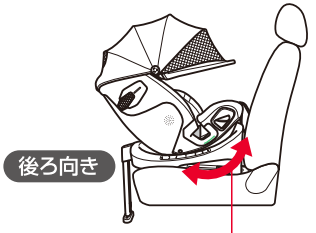
回転させる時に、手や指などを挟まないように、十分注意してください。走行中に回転操作はしないでください。

各部の使い方

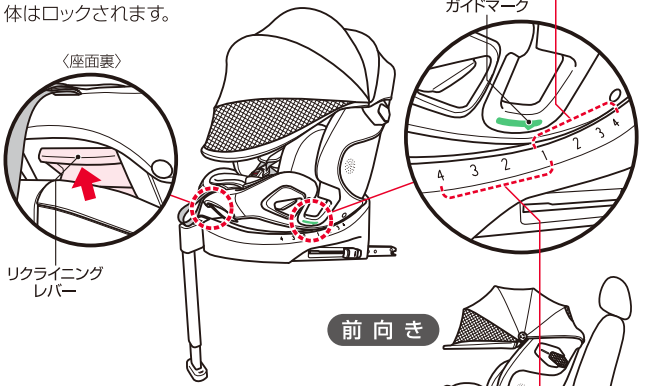
リクライニングレバー

リクライニングレバーを引きながら、本体を前後にスライドさせてリクライニング角度（前向き：1～4／後ろ向き：1～4）を調節できます。

補足 後ろ向きでご使用する場合は、お子様の負担が少ない低い位置での使用をお勧めします。



リクライニングレバーを離すと、本体はロックされます。



月齢15ヵ月かつ**身長76cm**を超えるまで
必ず後ろ向きでご使用ください。

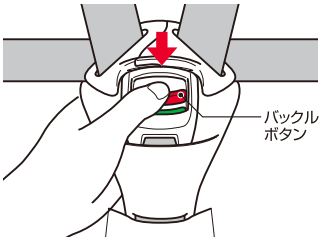
警告 本体を揺すって、ロックされていることを確認してください。確実にロックされていない状態では、決して使用しないでください。

注意 リクライニングさせる時に、お子様が手や指などを挟まないように注意してください。走行中はリクライニング操作をしないでください。

バックル・タング

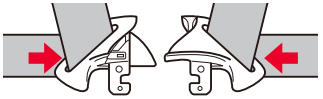
ロック解除の場合

バックルボタン（赤いボタン）を下に押すと、タングはバックルから解除されます。

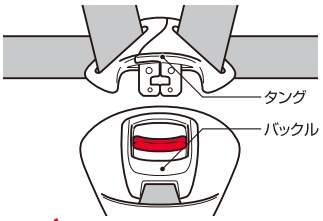


ロックする場合

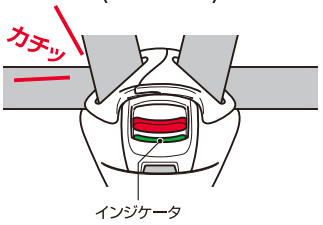
左右のタングを合わせます。



タングをバックルに、「カチッ」と音がするまで確実に差し込みます。
ロックすると、緑色のインジケータが、表示されます。



警告 バックルにタングをセットした際、「カチッ」と音がして、緑色のインジケータが表示されたことを確認してください。
緑色のインジケータが表示されない場合は使用を中止し、「お客様相談窓口」へご相談ください。



注意 バックル（タング差し込み口）に飲み物や食べかす等が入らないように注意してください。

各部の使い方

肩ベルト

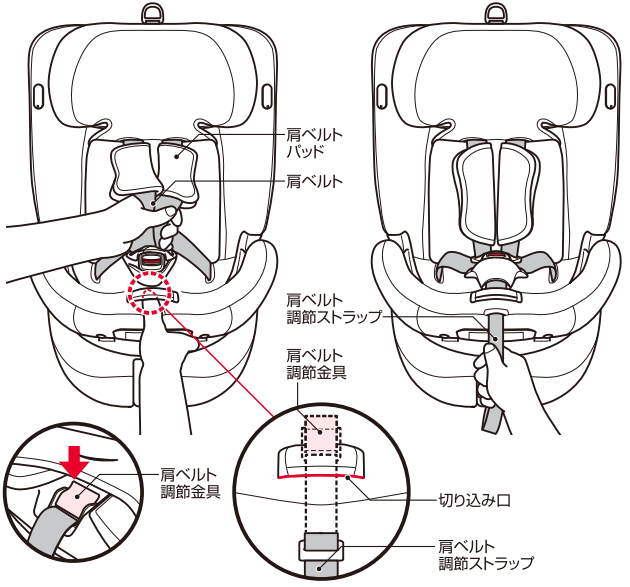
肩ベルトを緩める

肩ベルト調節金具を押しながら、左右の肩ベルト（肩ベルトパッドの下）を持って手前に引っ張ります。

※肩ベルトパッドを持って引っ張っても、肩ベルトは緩みません。

肩ベルトを締める

肩ベルト調節ストラップを、手前にゆっくり引っ張ります。



注意 左右の肩ベルトの長さが均等になるように、左右の肩ベルトを同時に引き出してください。

注意 肩ベルト調節ストラップを上に引っ張ると、肩ベルト調節金具が破損するおそれがありますので、必ず手前に引いてください。

ヘッドサポート

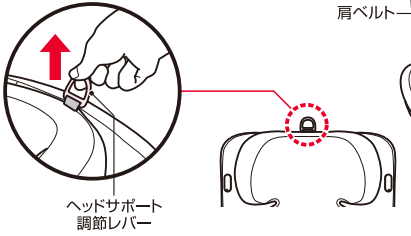
ヘッドサポート（肩ベルトと連動）の調節

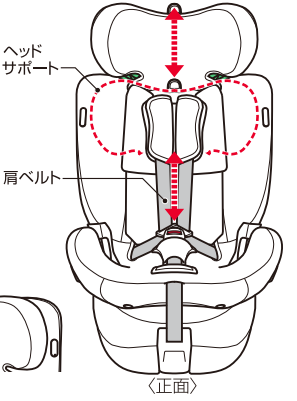
肩ベルトを緩め（P21参照）、ヘッドサポート調節レバーを引き上げて、ヘッドサポート・肩ベルトの高さを同時に調節することができます。

ヘッドサポートをお子様の身体に合った位置に調節してください。

調節後は、確実にロックされていることを確認してください。

補足 肩ベルトを緩めてからヘッドサポートの高さを調節をしてください。

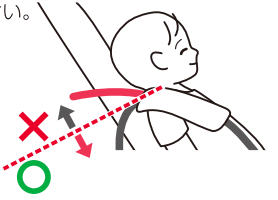




肩ベルト位置の目安

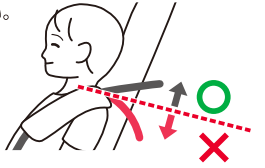
後ろ向き使用時

お子様の肩と同じ高さか、やや低い位置になるように高さを調節してください。



前向き使用時

お子様の肩と同じ高さか、やや高い位置になるように高さを調節してください。



各部の使い方

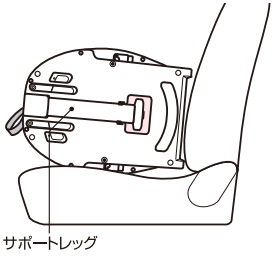
サポートレッグ

設置のしかた

1

本装置を横に寝かせます。

※あらかじめ寝かせるスペースを確保してください。

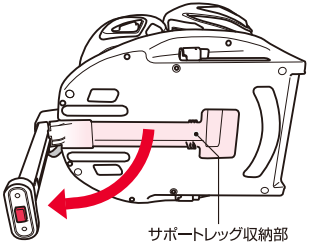


2

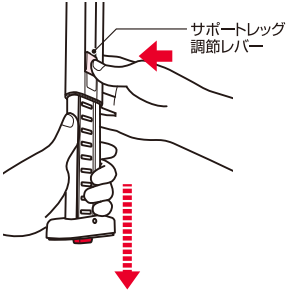
サポートレッグ収納部からサポートレッグを起こします。

3

本装置を寝かせた状態から起こします。



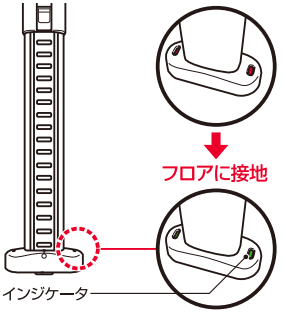
サポートレッグ調節レバーを押してロックを解除します。
サポートレッグを車両のフロアに接地するまで引き出します。



注意 引き出し・収納する際に、ベースと収納部との隙間に手や指などを挟まないように注意してください。

4

車両のフロアにしっかりと接地するとインジケータが緑色に変わります。



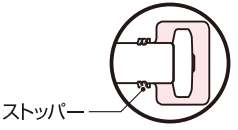
補足 ご使用の際は、ISOFIXコネクタを取り付けてからサポートレッグの高さ調節をしてください。

収納のしかた

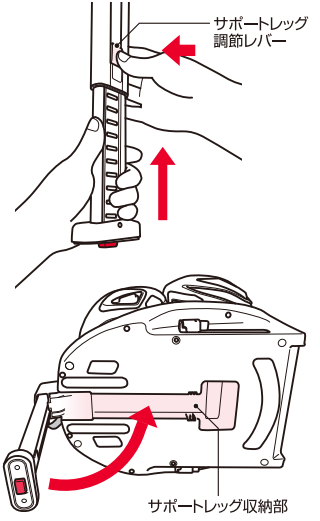
サポートレッグ調節レバーを押してロックを解除します。

サポートレッグを最も短くします。

本装置を横に寝かせ、サポートレッグ収納部側に押し込んで収納します。



補足 後ろ向きでご使用される場合は、前向きで取り付けてから後ろ向きに回転(P17·18参照)させてください。



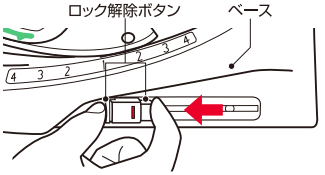
各部の使い方

ISOFIXコネクタ

ロックする

1

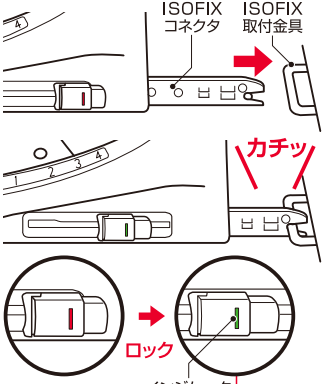
ISOFIXのロック解除ボタンを押しながら、左右のISOFIXコネクタをベースの後ろ側に、目一杯押し出してください。
ロック解除ボタンを離すと、ISOFIXコネクタがロックされ、戻らなくなります。



2

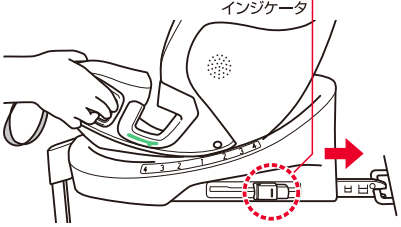
ISOFIXコネクタの先端の凹部を座席側のISOFIX取付金具に合わせ、「カチッ」と音がするまで差し込むとロックされます。
ロックするとインジケータが赤色から緑色に変わります。

補足 インジケータが緑色にならない場合は、ロックされていません。再度やり直してください。



3

左右それぞれのインジケータが、緑色に変わったことを確認できたら、座席側にゆっくりと押し込んでください。

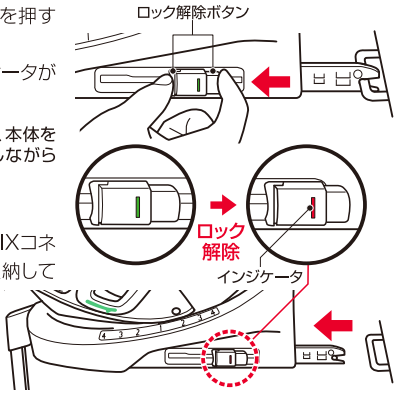


ロックを解除する

ISOFIXのロック解除ボタンを押すと、ロックは解除されます。
ロックが解除されるとインジケータが緑色から赤色に変わります。

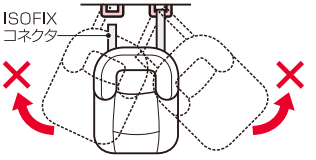
補足 ロックを解除する際は、本体を背もたれ側に軽く押しながら解除してください。

ロックが解除されたら、ISOFIXコネクタを引き戻してベースに収納してください。



⚠注意

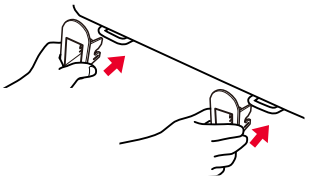
取り付け・取り外しの際、ISOFIXコネクタが片側のみ接続された状態で本体をひねったり、上下左右に揺すると、ISOFIXコネクタが破損しますので絶対におやめください。



ISOFIXガイドキャップ

ISOFIX取付金具が座席の奥で見えない場合や、ISOFIXコネクタが差し込みにくい場合にご使用ください。

※ISOFIX取付金具の位置が見やすい場合は、必ずしも取り付ける必要はありません。また、すでにキャップの付いた車両には取り付けるは必要ありません。

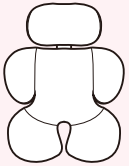
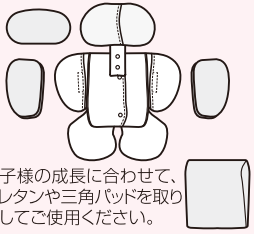


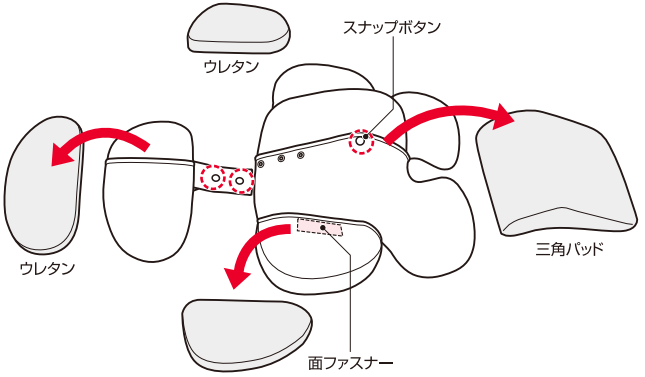
各部の使い方

インナークッション

身長が76cm未満のお子様は、必ずインナークッションを取り付けてご使用ください。
インナークッションを取り外してもよい条件は76cm以上(12ヵ月頃)で、腰と首がすわっていることです。

お子様の体格・着衣により、窮屈な状態でしたら、ウレタンや三角パッドを取り外して調節してください。

身長 40cm～	60～76cm未満	76cm～
必ず使用する 	 ※お子様の成長に合わせて、ウレタンや三角パッドを取り外してご使用ください。	使用しない 



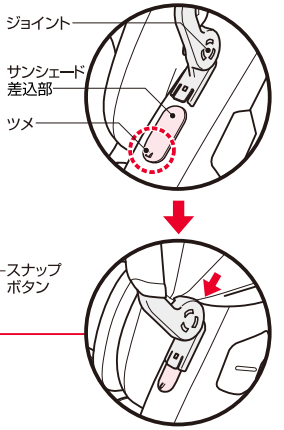
サンシェード

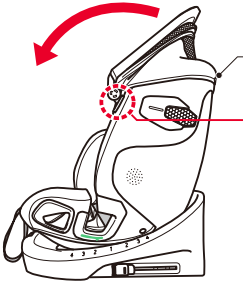
〈ご使用の目安〉

本装置からお子様の頭が出る場合は、ご使用いただけません。

〈取り付け方〉

サンシェードのジョイントを、サンシェード差込部のツメがジョイントから出るまで差し込みます。
背面上部のスナップボタン(2ヵ所)を取り付けます。
矢印の方向に開きます。





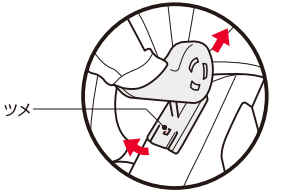
注意

サンシェードを取り付け・取り外す時に、指を挟まないようにご注意ください。

走行時は、大きく窓を開けて使用しないでください。サンシェードが動くなどして、お子様がケガをするおそれがあります。

サンシェードを開閉させる時に指や手などを挟まないようにご注意ください。

サンシェードのみを持って持ち運ばないでください。破損・事故のおそれがあります。



〈取り外し方〉

サンシェードのジョイント先端部を引き上げてツメから外し、ジョイントを引き抜きます。

チャイルドシートモードとしての使い方

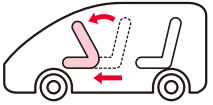
取り付ける前に

作業スペースの確保

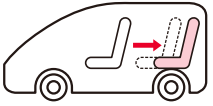
後部ドアが全開可能な平坦な場所で取り付けてください。



前席を前に倒したり、前にスライドさせて作業スペースを確保してください。



チャイルドシートを取り付ける座席が前後に調節できる場合は、座席を1番後ろに下げてください。

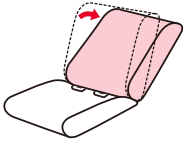


座席の準備

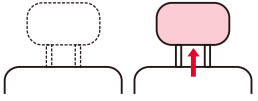
後部座席の背もたれがリクライニングできる場合は、本装置と背もたれとの隙間ができるだけ少なくなるように、調節してください。



背もたれがリクライニングできる座席で、ISOFIX金具が見にくい場合は、背もたれを倒してISOFIXコネクタを取り付けてください。



ヘッドレストが本装置に干渉する場合は、取り外してください。外せない場合は、1番上に引き上げてください。



警告 エアバッグが装備されている座席には、取り付けできません。安全性の高い助手席の後部座席でのご使用をお勧めします。

注意 ISOFIX金具の周辺に障害物がないか、車両のシートベルトが挟まっていないかなどを、確認してから取り付けてください。

本装置の取り付け方

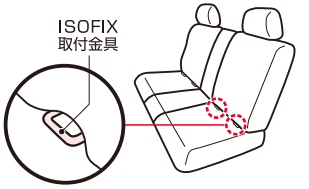
1

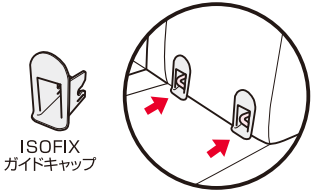
ISOFIX取付金具の位置を確認してください。

補足 ISOFIX取付金具は、一般的に背もたれと座席の間に装備されています。

ISOFIX取付金具が座席に隠れて見にくい場合は、付属のISOFIXガイドキャップを使用すると取り付けやすくなります。その際、上下の向きに注意して取り付けてください。

※ISOFIXガイドキャップは、ISOFIX取付金具の位置が見やすい場合は、必ずしも取り付ける必要はありません。
また、すでにキャップの付いた車両には取り付ける必要はありません。

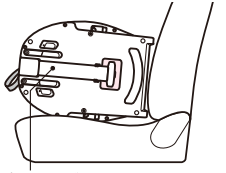




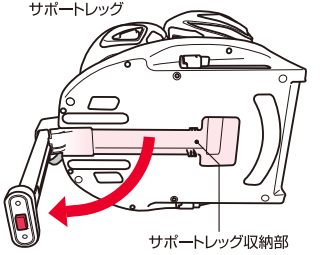
2

本装置を横に寝かせます。

※あらかじめ寝かせるスペースを確保してください。



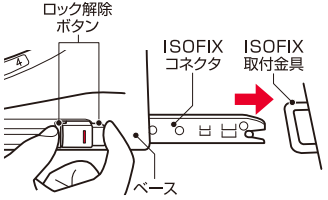
サポートレッグ収納部からサポートレッグを起こします。
本装置を寝かせた状態から起こします。



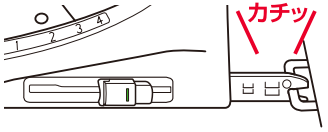
本装置の取り付け方

3

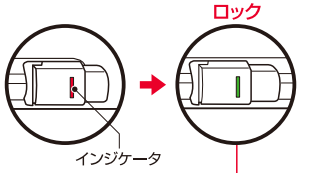
ISOFIXのロック解除ボタンを押しながら、左右のISOFIXコネクタをベースの後ろ側に、目一杯押し出してください。
ロック解除ボタンを離すと、ISOFIXコネクタが戻らなくなります。



ISOFIXコネクタの先端をISOFIX取付金具に合わせ、「カチッ」と音がするまで差し込むとロックされます。

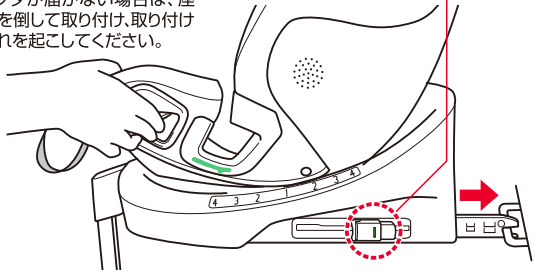


ロックされるとインジケータは赤色から緑色に変わります。



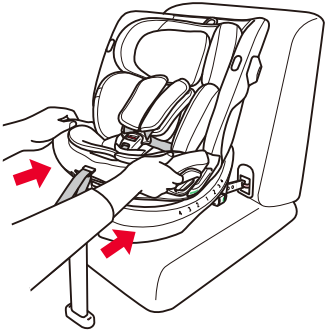
補足 インジケータが緑色にならない場合は、ロックされていません。再度やり直してください。

座席の形状により、ISOFIX取付金具にISOFIXコネクタが届かない場合は、座席の背もたれを倒して取り付け、取り付けた後に背もたれを起こしてください。



4

左右それぞれのインジケータが、緑色に変わったことを確認できたら、座席にゆっくり押し込んでください。



5

サポートレッグ調節レバーを押してロックを解除します。
サポートレッグを車両のフロアに接地するまで引き出します。

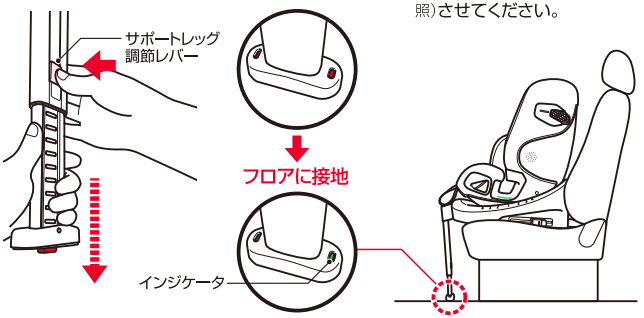
車両のフロアにしっかりと接地すると、インジケータが赤色から緑色に変わります。

※緑色にならない場合は、サポートレッグをもう1段下げてください。

警告 サポートレッグが車両のフロアに接地していない状態で、絶対に使用しないでください。

注意 ISOFIXコネクタの可動部に指を入れないように、注意して取り付けてください。

補足 後ろ向きでご使用される場合でも、前向きで取り付けてから後ろ向きに回転(P17・P18参照)させてください。



お子様を乗せる前に

車両に確実に取り付けられているか、必ず確認をしてください。

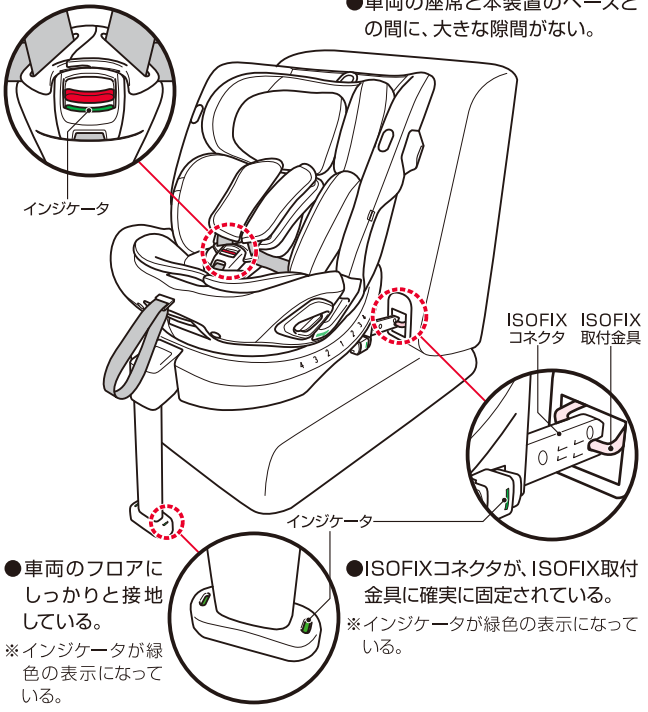
●バックルにタングを差し込んだ際、肩・腰ベルトにねじれがない。

※緑色のインジケータが表示されている。

●本装置を前後に軽く揺すってみて、ぐらつきがなく安定している。

※左右のぐらつきは問題ありません。

●車両の座席と本装置のベースとの間に、大きな隙間がない。



●車両のフロアにしっかりと接地している。

※インジケータが緑色の表示になっている。

●ISOFIXコネクタが、ISOFIX取付金具に確実に固定されている。

※インジケータが緑色の表示になっている。

お子様の乗せ方

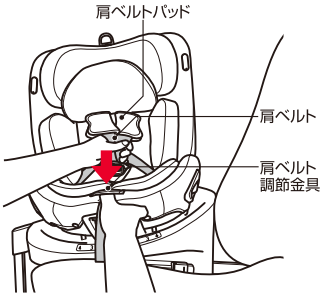
1

お子様を乗せやすい位置に本体を回転させます（P17・P18参照）。

2

肩ベルト調節金具を押しながら、左右の肩ベルト（肩ベルトパッドの下）を手前に引っ張って肩ベルトを緩めます。

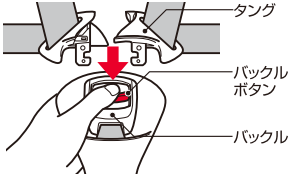
※肩ベルトパッドの位置を調節することはできません。肩ベルトパッドを引っ張っても肩ベルトは緩みません。



注意 左右の肩ベルトの長さが均等になるように、左右の肩ベルトを同時に引き出してください。

3

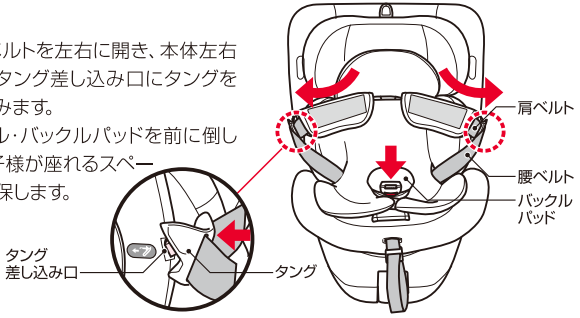
バックルボタン（赤いボタン）を下に押して、タングをバックルから解除します。



4

肩・腰ベルトを左右に開き、本体左右にあるタング差し込み口にタングを差し込みます。

バックル・バックルパッドを前に倒して、お子様が座れるスペースを確保します。

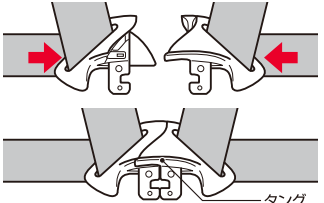


お子様の乗せ方

5

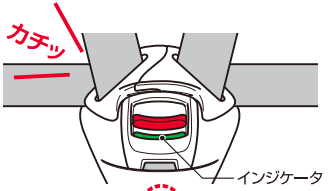
バックルが、お子様の股の間に収まるように深く座らせ、肩ベルトの下にお子様の両腕を通します。

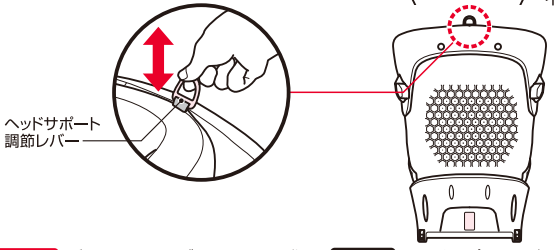
左右のタングを合わせます。
タングをバックルに、「カチッ」と音がするまで確実に差し込みます。
ロックすると、緑色のインジケータが表示されます。



6

肩ベルトの高さを確認して、位置が合っていない場合は、ヘッドサポートの高さを調節してください（P22参照）。



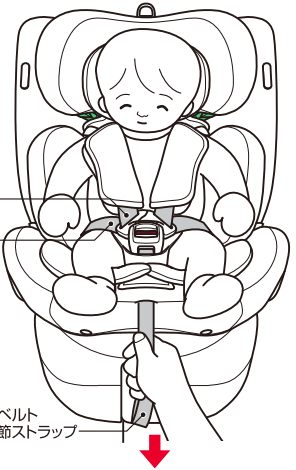


警告 バックルとタングをセットした際、「カチッ」と音がしたこと、緑色のインジケータが表示されていることを確認してください。

補足 ヘッドサポートの高さは、肩ベルトを緩めてから調節してください。

7

肩・腰ベルトにねじれがないことを確かめてから、肩ベルト調節ストラップを手前にゆっくり引っ張って、肩ベルトを締め、お子様を拘束してください。



補足 肩ベルトがねじれてタングが逆向きになった場合は、肩ベルトを斜めに折って、折った端の方からタングを通してください。

月齢15ヵ月かつ身長76cm未満のお子様は必ず後ろ向きで使用

注意 肩・腰ベルトにねじれができないように、また指を挟まないように十分注意してください。

肩ベルト調節ストラップを上に引っ張ると、肩ベルト調節ボタンが破損するおそれがあります。
必ず手前に引いてください。

補足 肩ベルトの調節の目安は、お子様の肩と肩ベルトの間に指1本が入る程度に調節してください。



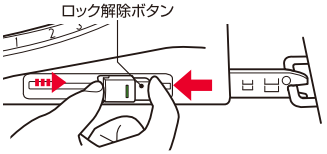
お子様の降ろし方

お子様を降ろしやすい位置に本体を回転させます（P17・P18参照）。
肩ベルト調節金具を押して肩ベルトを緩めます（P21参照）。
バックルボタンを押してロックを解除し、肩ベルトを左右に開きます（P20参照）。
お子様の腕が肩ベルトに引っ掛からないように注意しながら、ゆっくりとお子様を降ろしてください。

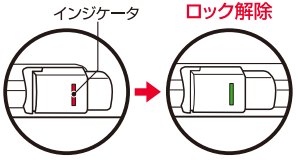
本装置の取り外し方

1

ISOFIXのロック解除ボタンを押すと、ロックは解除されます。
ロックが解除されるとインジケータが緑色から赤色に変わります。



補足 本体を座席側に軽く押しつけながら、ロック解除ボタンを押してください。



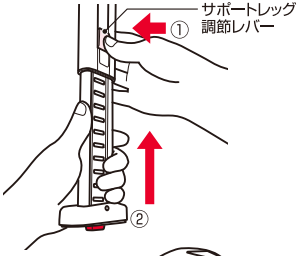
ロックが解除されたら、ISOFIXコネクタを引き戻してベースに収納してください。

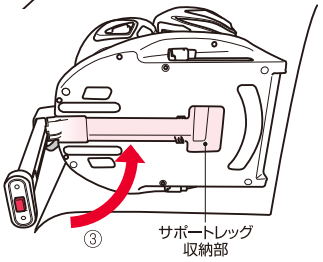
2

①サポートレッグ調節レバーを押してロックを解除します。

②サポートレッグを最も短くします。

③本装置を横に寝かせ、サポートレッグ収納部側に押し込んで収納します。





注意 引き出し・収納する際に、ベースと収納部との隙間で手を挟まないようにしてください。

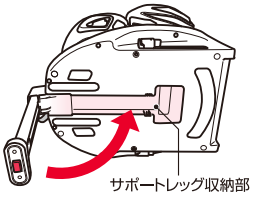
ジュニアシートモードとしての使い方

取り付ける前に

必ずサポートレッグを収納し、サンシェード、クッション、パッド類を取り外します。

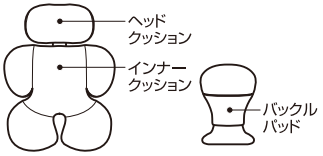
1

サポートレッグをサポートレッグ収納部に収納します(P24参照)。
肩ベルトを緩め(P21参照)、タングをバックルから解除(P20参照)します。



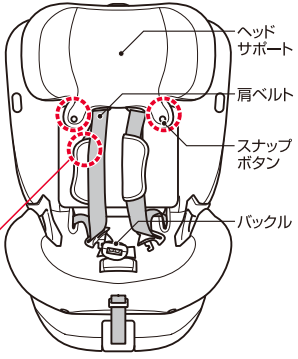
2

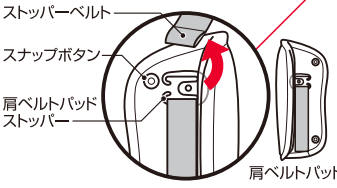
サンシェード、ヘッドクッション・インナークッションを取り外します。
バックルパッドは、バックルから引き抜きます。



3

ヘッドサポートのスナップボタン(2カ所)を外します。
肩ベルトパッドのスナップボタン(2カ所)を外します。
肩ベルトパッドストッパーからストッパーベルトを引き抜いて、肩ベルトパッドを取り外します。





補足 取り外したヘッドクッション・インナークッション、バックルパッド・肩ベルトパッド、肩ベルトストッパーは、大切に保管してください。

ジュニアシートモードとしての使い方

取り付ける前に

タングとバックルを収納します。

3

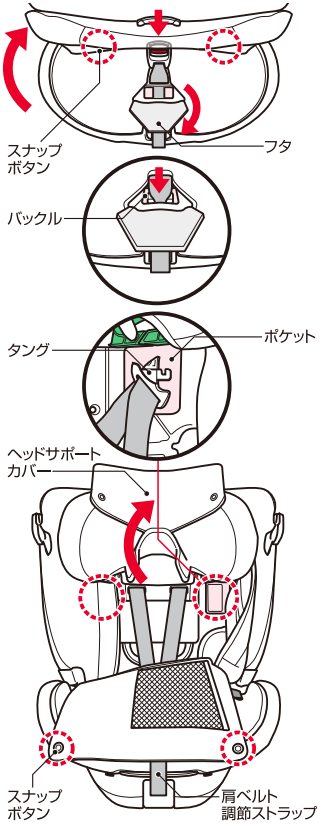
本体カバーの座面にあるスナップボタン(2ヵ所)を外してカバーを引き上げ、バックルを本体カバーの内側に引き抜きます。
座面にあるフタを開け、その穴の中にバックルを収納して、フタを閉めます。
肩ベルト調節ストラップは、本体カバーの内側に収納し、本体カバーを引き下げ、座面にあるスナップボタン(2ヵ所)を取り付けます。

4

ヘッドサポートカバーの背もたれ部分を引き上げます。
背もたれのスナップボタン(2ヵ所)を外して、座面側に倒します。

5

タングを背もたれにあるポケットに収納し、肩・腰ベルトを背もたれのカバーの内側に入れます。
背もたれのスナップボタン(2ヵ所)とヘッドサポートカバーのスナップボタン(2ヵ所)を取り付けます。
ヘッドサポートカバーの背もたれ部分を引き下げます。



本装置を車両に取り付ける

「本装置を車両に取り付ける(P30～P32)」を参照し、本装置を取り付けてください。

※サポートレッグは使用しません。
※ISOFIX取付金具の付いてない座席には、3点式シートベルトのみでもご使用できます。



お子様の乗せ方

1

お子様を深く座らせ、ヘッドサポートを頭の高さに合わせて調節します(P22参照)。
肩ベルトガイドに車両の肩ベルトを通します。

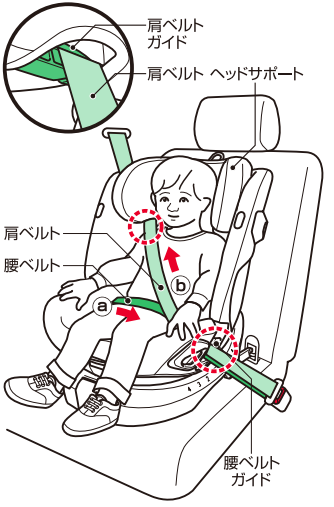
※肩ベルトがねじれたり、お子様の首に掛からないように注意してください。

2

車両の腰ベルトが、お子様の骨盤の低い位置に掛かるように、左右の腰ベルトガイドに通し、車両のタングとバックルをセットします。

3

車両の腰ベルトを引っ張り(ⓐ)、車両の肩ベルトを巻き戻して(ⓑ)シートベルトに緩みがないように、確実に装着してください。



注意 お子様の手や腕を、車両のシートベルトで挟まないように、車両のシートベルトの上になるようにしてください。

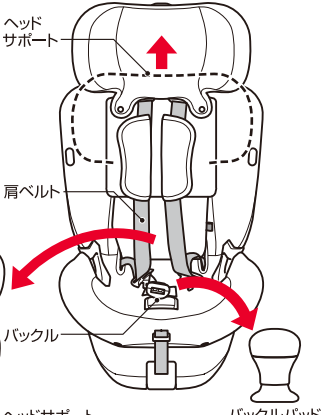
お子様の降ろし方

車両のバックルボタンを押してロックを解除し、お子様を降ろしてください。

カバー類の取り外し方

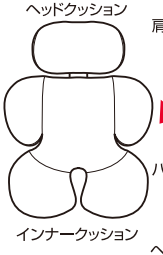
1

肩ベルトを緩め(P21参照)、タングをバックルから解除(P20参照)し、ヘッドサポートを引き上げます(P22参照)。



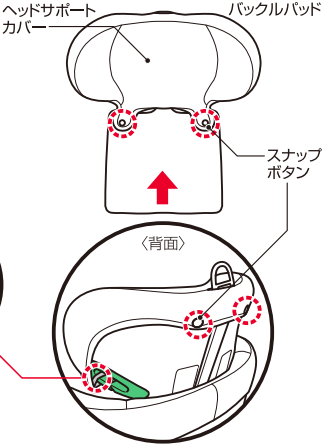
2

ヘッドクッション・インナークッションを取り外します。
バックルパッドは、バックルから引き抜きます。



3

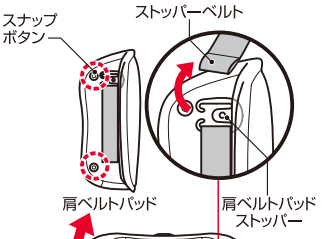
ヘッドサポートカバーは、背面上部(2ヵ所)と正面(2ヵ所)のスナップボタンと、肩ベルトガイドに掛かっているゴム(2ヵ所)を外して取り外します。



注意 バックル・タング、ベルトやストラップ類は、本体から取り外さないでください。

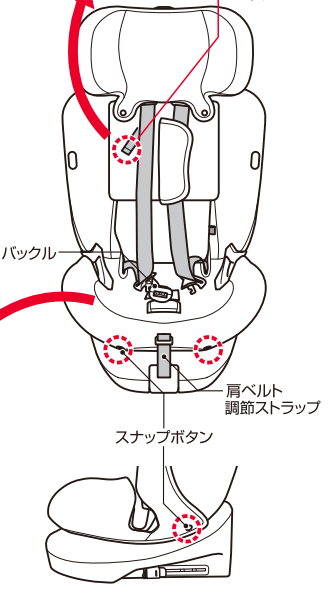
4

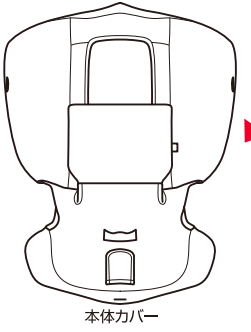
肩ベルトパッドのスナップボタン(2ヵ所)を外します。
肩ベルトパッドストッパーからストッパーベルトを引き抜いて、肩ベルトパッドを取り外します。



5

本体カバーは、座面の下側(2ヵ所)と側面(2ヵ所)にあるスナップボタンを外します。
肩ベルト調節ストラップとバックルを引き抜いて、本体カバーを取り外します。





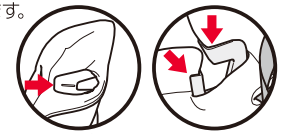
注意 バックル・タング、ベルトやストラップ類は、本体から取り外さないでください。

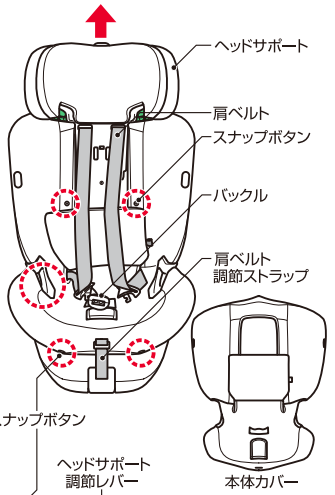
カバー類の取り付け方

1

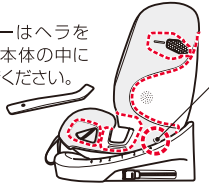
肩ベルトを緩め(P21参照)、ヘッドサポートを引き上げます(P22参照)。

肩ベルト・バックル・肩ベルト調節ストラップを、本体カバーの表側に引き出し、背もたれ(2ヵ所)と座面の下側(2ヵ所)・側面(2ヵ所)のスナップボタンを付けて、本体カバーを取り付けます。



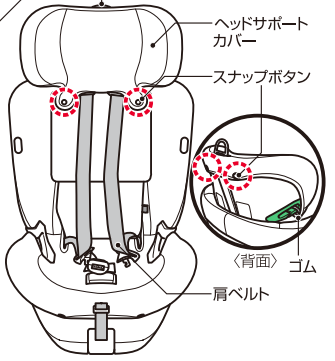


※本体カバーはヘラを使用して、本体の中に押し込んでください。



2

ヘッドサポートカバーは、肩ベルトガイドにゴム(2ヵ所)を取り付け、ヘッドサポート調節レバーを引き出し、肩ベルトを手前に引き出します。
背面上部(2ヵ所)と正面(2ヵ所)のスナップボタンで取り付けます。

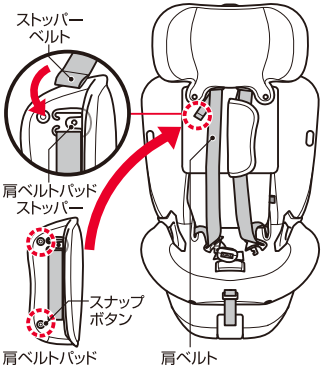


注意 本体カバーを取り付ける際は指を挟まないように、十分注意しておこなってください。

3

肩ベルトパッドの中にある肩ベルトパッドストッパーに、ストッパーベルトを取り付けます。
肩ベルトをストッパーベルトの上にして、肩ベルトパッドのスナップボタン(2ヵ所)で取り付けます。

※スナップボタンが付いている方を、外側にしてください。

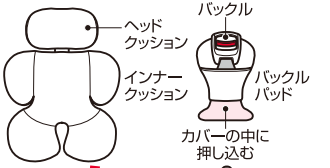


4

バックルパッドをバックルに取り付け、下部は本体カバーの中に押し込みます。

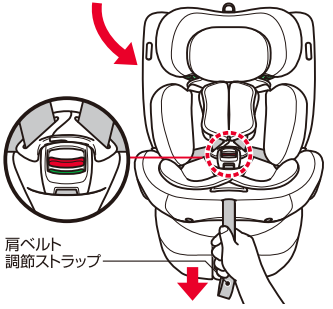
5

ヘッドクッションとインナークッションにウレタンと三角パッドを入れ(P27参照)、本体に取り付けます。



6

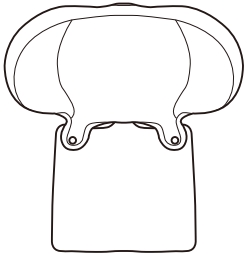
バックルパッドを引き下げ、左右のタングを合わせて、バックルにセットし(P20参照)、肩ベルト調節ストラップを手前にゆっくり引っ張って、肩ベルトを締めます。



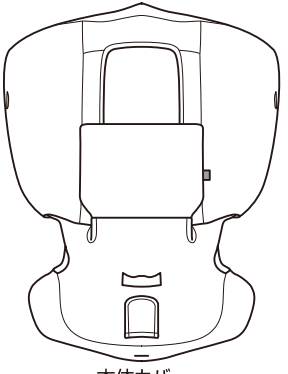
お手入れ

カバー・パッド・クッション

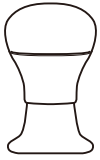
- ●塩素系漂白剤は色落ちしますので、使用しないでください。
- ●洗濯機（手洗いモード）で洗う場合は、中性洗剤を使い、必ず洗濯ネットを使用してください。
- ●しっかり乾くまで使用しないでください。
- ●脱水機・衣類乾燥機、アイロンは使用しないでください。



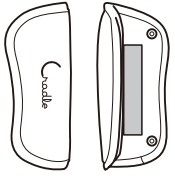
ヘッドサポートカバー



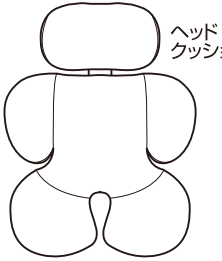
本体カバー



バックルパッド



肩ベルトパッド



インナークッション



本体・ベルト 等

- ●乾拭き、またはよく絞った布で水拭きしてください。
- ●風通しのよい日陰で干してください。
- ●しっかり乾くまで使用しないでください。
- ●バックル・タングに付いた水分や汚れは、しっかり拭き取って乾かしてください。



ウレタン



三角パッド



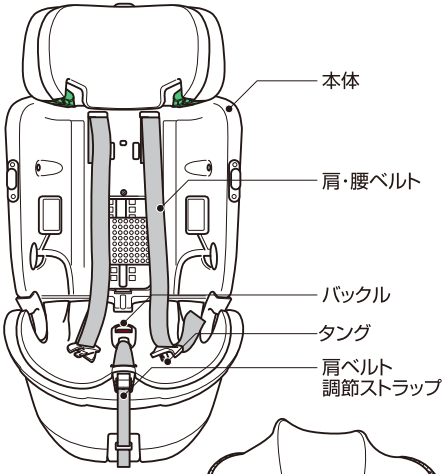
ヘラ

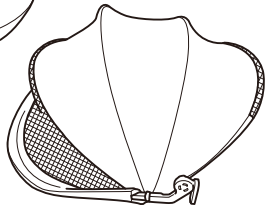


肩ベルトパッド
ストッパー



ISOFIX
ガイドキャップ





サンシェード

補足 取り外したクッション・パッド類、肩ベルトパッドストッパーは、大切に保管してください。

注意 タング・バックル、肩・腰ベルト、肩ベルト調節ストラップは、本体から取り外さないでください。

困ったときには

弊社ホームページ「よくあるご質問 Q&A（QRコード→）」をご覧ください。

チャイルドシートを取り付けたが、安定せずグラグラする。

○座面を前後に軽く揺すり、本装置の座面と車両のシートのズレが3cm～5cm以内であること。
○車両の座席がリクライニングできる場合は、背もたれを前に起こしたりすることで、しっかり固定できる場合があります。

肩ベルトが緩まない。

○肩ベルトパッドと一緒に肩ベルトを引いた場合は、肩ベルトは緩みません。肩ベルト調節ボタンを押しながら、肩ベルトパッド下側の肩ベルト（左右）のみを引っ張ってください（P21参照）。

ヘッドサポートが上がらない。

○肩ベルトを十分緩めてから操作してください（P21参照）。

バックルにタングが入らない。

○バックル（タングの差し込み口）にゴミや水分等が入ったために、バックル解除ボタンが機能しない場合があります。ゴミや水分等を取り除いてもバックルにタングが入らない場合は、「お客様相談窓口」までお問い合わせください。
○バックルの差し込み口に潤滑スプレーを吹き付け、バックルにタングを数回抜き差ししてください。

肩ベルトがねじれて、タングが逆向きになった。

○肩ベルトを斜めに折って、折った端の方からタングを通してください。

後席の運転席側か助手席側か、どちらに取り付けた方がいいか。

○助手席の後部をお勧めします。信号などの停車時にお子様の様子を確認いただけたり、お子様の乗せ降ろしが歩道側でできるので、より安全です。

解決しない場合は「お客様相談窓口」（0120-034-017）までお問い合わせください。

ISOFIXを取り付けたら、座面の前側が浮いている。

○座面に手のひらが入る程度であれば問題ありません。それ以上であれば、背もたれを起こして再度取り付け直してください。お子様を乗せて、座面が座席に接地していることを確認してください。

ISOFIXをうまく差し込むことができない。

○ISOFIXコネクタを、目一杯引き出してから差し込んでください。
○ISOFIX取付金具のまわりに、シート生地等が挟まっていないかご確認ください。

肩ベルト 腰ベルトがきつい。

○インナークッションの取り外し条件を確認してください（P27参照）。
○肩ベルトの高さがお子様の肩の位置に合っていますか？ ヘッドサポート（肩ベルトと連動）の高さを確認してください（P22参照）。

子どもの服が厚いためか、身体が窮屈そう。

○肩ベルトを緩めて調節してください（P21参照）。
○インナークッションまたはウレタンの取り外し条件を確認してください（P27参照）。
○厚手の衣類はしっかり拘束することが難しくなりますので、できるだけ避けてください。寒い場合は、拘束した上から防寒対策をしてください。

カバー・パッド類やインナークッションを新たに購入したい。

○弊社ホームページからご購入ください。または「お客様相談窓口」まで、お問い合わせください。

廃棄したい。

○お住まいの各自治体の規定に従い処分廃棄してください。

保証規定

①本製品の品質保証期間は、お買い上げになった日より1年間です。
②保証期間内には、パーツの欠品、加工不良などメーカーの責任によるものは無償保証といたしますが、お客様の責任によるものは保証いたしかねます。
③保証期間内でも、次の場合は保証対象外とさせていただきます。
- ●フレームおよびプラスチック部品の自然劣化による変色。
- ●ご使用にともなう傷ややぶれ、変色。
- ●天災地変や、事故などによる故障や損傷。
- ●有償修理時に要する発送費。
- ●保証書および、レシートまたは販売証明書のご提示がない場合。
- ●部品の紛失。
- ●一般家庭以外で、業務などに使用されて故障した場合。
- ●間違った使い方や改造、不適切な修理、手入れ不良による故障や損傷。
- ●保証書に製品名・お買い上げ日・お客様名・販売店名のご記入がない場合や、字句を書き換えられている場合。

④原則として、一度ご使用になった製品はお取り替えできません。また、パーツ欠品・加工不良のものを除き保証いたしかねます。
⑤製品の故障・損傷から派生する間接的な損傷や損害は、保証の対象外となります。
⑥事故や落下等で強い衝撃を受けた製品は、保証の対象外となります。
⑦保証書は日本国内においてのみ有効です。海外からの保証サービスは受付できません。
⑧ご贈答、ご移転で保証書に記入してある販売店に保証サービスを依頼できない場合は「お客様相談窓口」にご相談ください。
⑨本保証は保証書記載欄の販売店から、お買い上げ日にご購入されたお客様（贈答品の場合は、保証書記載欄の販売店からお買い上げになられたお客様から贈答された方）にのみ有効です。
第三者から譲り受けた場合（リサイクルショップやネットオークション等含む）、使用履歴を確認できない場合は、本保証は適用されません。
⑩この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償保証をお約束するものです。したがって、この保証書によって、お客様の法律上の権限を制限するものではありません。この保証期間後において、ご不明な点がありましたら、「お客様相談窓口」にお問い合わせください。

※製造が終了してから3年経過した製品や、必要部品の在庫がなくなった場合等、すでに修理対応ができない製品につきましては修理をいたしかねることがあります。
※保証期間内であっても、不具合のある箇所によっては修理ができない場合があります。
※本保証は事前の通知なく変更される場合があります。

保証書

お買い上げ後、お買い上げ日・お客様名・販売店名を直ちにご記入いただき、**レシート**または**販売証明書**（ご購入年月日・販売店がわかるもの）**と一緒**に大切に保管してください。

製品名	クレイドル クルターンロング i-Size	
お買い上げ年月日	年　月　日	
保証期間	お買い上げ日より1年間	
お客様	お名前	TEL（　　）　－
	ご住所	
販売店	店名	TEL（　　）　－
	住所	
故障内容記入欄		

●万一故障が発生した場合は、この保証書とレシートまたは販売証明書をご提示ください。
●ご提供いただいた個人情報は、保証書に基づくアフターサービスのために使用し、その他の目的に使用することは一切ございません。
●保証書は再発行しませんので、大切に保管してください。
●製品質向上のため、予告なしに一部仕様変更する場合がありますのでご了承ください。